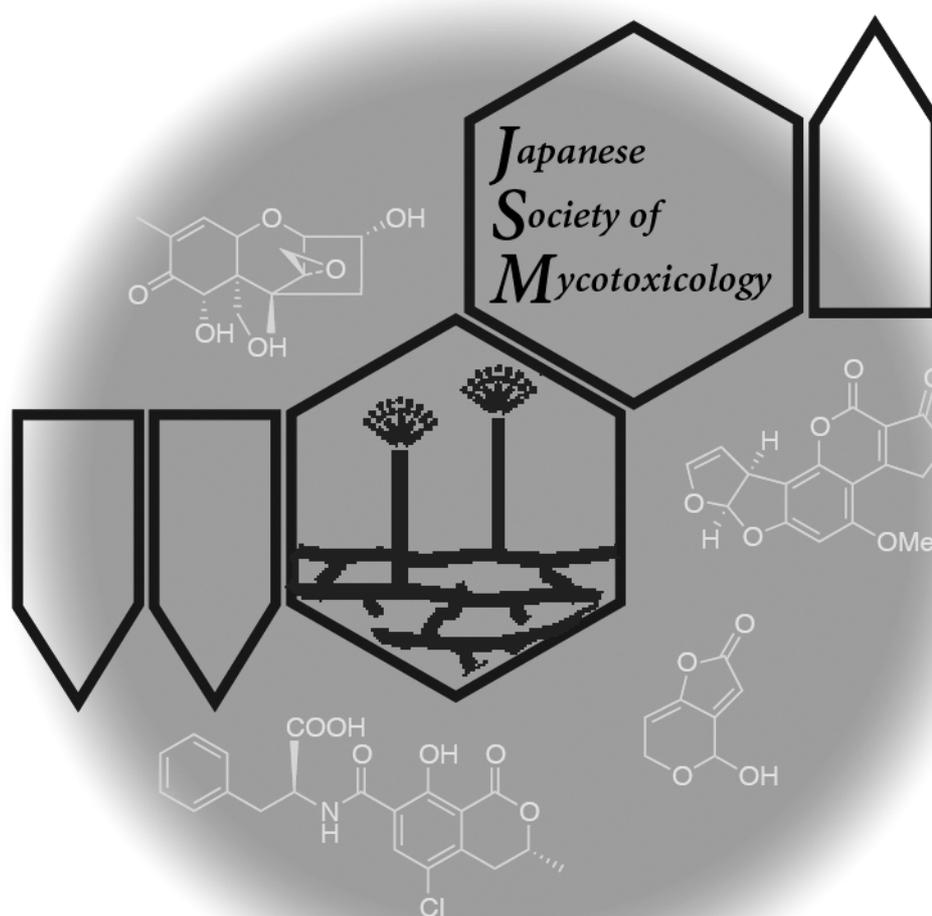


日本マイコトキシン学会 第85回学術講演会 講演要旨集



期日:令和2年1月10日(金)

会場:名古屋大学 理学南館 坂田・平田ホール

主催:日本マイコトキシン学会

講演要旨集目次

	頁
お知らせ	1
会場案内	2
タイムテーブル	3
プログラム	4 - 7
講演要旨	
シンポジウム/特別講演	8 - 20
一般講演	21 - 25
ポスターセッション	26 - 42
ランチオンセミナー	43 - 46
協賛企業一覧	47 - 48
広告	

お知らせ

【会場使用上の注意】

建物内での飲食と喫煙は全面禁止です。喫煙される方は指定の屋外喫煙所をご利用ください。必要な方には、受付で屋外喫煙所への地図を配布致します。

【一般講演、シンポジウム】

会場:理学南館 坂田・平田ホール

一般講演は発表 9 分、質疑応答 3 分です。7 分で 1 鈴、9 分で 2 鈴、12 分で 3 鈴を鳴らします。パソコンのスライド送り操作は演者ご自身で行っていただきます。

【ポスターセッション】

発表会場:理学南館 坂田・平田ホールおよびセミナー室 107 室

ポスターブリーフィングの機会を設けました。13:50 から坂田・平田ホールのステージ上でポスターの概要について 1 演題につきスライド 1 枚、2 分以内（時間厳守）で説明して頂くことができます。スライドは横縦比率 4:3 のパワーポイントスライドを PDF 変換したものを映写いたします。是非この機会をご利用頂き、その後のポスター会場（セミナー室 107 室）での活発なご討論へ活かして下さいようお願い申し上げます。

ポスター会場には掲示に必要なマグネットが用意してあります。テープ類は使用しないでください。ポスター発表時間終了後、17:00 までにポスターの撤去をお願いします。

【企業展示】

展示会場:理学南館 セミナー室 107 室

時間:10:30~17:00

【ランチョンセミナー】

会場:理農館 SA329

時間:12:00~13:00

当日朝にランチョンセミナー参加券を配布します。参加券と引換えにお弁当とお茶をお渡しします。ランチョンセミナー会場は学術講演会会場の隣の建物（理農館 SA329）です。会場への移動は、特別講演1が終了後に係りの者が案内いたします。

【幹事会】

会場:レストラン花の木 小会議室

時間:11:50~13:10

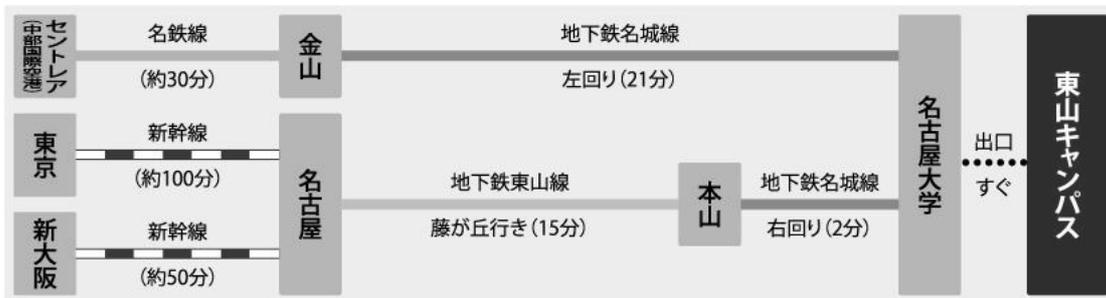
【懇親会】

会場:レストラン花の木 ホール

時間:17:45~19:45

【会場案内】

東山キャンパス (地下鉄名城線名古屋大学駅下車、2番出口からすぐ)



2番出口から地上に出ると (①)、左が大通り、右がキャンパス。キャンパスに入っ
てすぐの自転車置場を左、理学部の建物を右に見ながら進み、すぐに右折 (②)、建物沿
いに歩道を道なりに2つ目の自転車置場を過ぎて進んでいくと (③)、クレイグスカフェ (④)
の入っている理学E館に突き当たる。カフェの正面が理学南館 坂田・平田ホール

日本マイコトキシン学会第 85 回学術講演会

タイムテーブル

9:10－	受付
9:40－9:45	挨拶
9:50－11:05	シンポジウム (S-1~S-3)
11:05－11:15	休憩
11:15－11:45	特別講演 1 (S-4)
12:00－13:00	ランチョンセミナー
13:20－13:50	総会
13:50－15:20	ポスターセッション (P-1~P-17)
15:20－16:20	一般講演 (O-1~O-5)
16:20－16:30	休憩
16:30－17:10	特別講演 2 (S-5)
17:10－17:20	ISMCO 2020 & ICM 2020 のご案内
17:20－17:25	次回学術講演会のご案内
17:45－19:45	懇親会

日本マイコキシソ学会第 85 回学術講演会プログラム

日 時：2020 年 1 月 10 日（金） 9:40～17:30（開場 8:40、受付開始 9:10）

場 所：名古屋大学 東山キャンパス 理学南館 坂田・平田ホール
（名古屋市千種区不老町）

ランチョンセミナーは隣接した建物（理農館 SA329）の会場で行います。

09:40—9:45 開会の挨拶 木村 真（名大院・生命農）

9:50—11:05 シンポジウム「赤かび病に立ち向かう学際的研究の新展開」(S-1～S-3)

座長：近藤竜彦（名大院・生命農）

清水公德（東理大・基礎工）

S-1 (9:50—10:15) トリコテセン耐性に関わる側鎖修飾と異種異属のトリコテセン生産菌を利用したトリコテセンライブラリーの構築

○安藤直子^{1,2}、松井宏介³、鈴木 将¹、貞松和樹¹、小豆畑隼¹、岡田彩希¹、小泉慶明²、
武田博音²、木村 真³

（¹東洋大院・理工、²東洋大・理工、³名大院・生命農）

S-2 (10:15—10:40) デオキシニバレノール分解微生物の探索と活用の可能性

○佐藤育男

（名大院・生命農）

S-3 (10:40—11:05) 安全で効果的な赤かび病防除に向けた植物由来の新規抵抗性誘導剤の開発

○西内 巧

（金沢大・遺伝子）

11:05—11:15 休憩

11:15—11:45 特別講演1

座長：須賀晴久（岐阜大・ゲノム）

S-4 (11:15—11:45) ゲノム情報時代のコムギ赤かび病抵抗性研究の動向と進捗

○坂 智広

（横市大・木原研）

12:00—13:00 ランチョンセミナー

L-1 BIOMIN JAPAN 株式会社

L-2 ジーエルサイエンス株式会社

L-3 Randox Food Diagnostics

L-4 雑誌 TOXINS（代理説明）

13:20—13:50 総会

13:50—15:20 ポスターセッション(ブリーフィングと展示)（下線は学生会員の発表者）

座長：中島正博（名女大）

P-1 LCMSMSを用いた食品中の麦角アルカロイド分析に関する検討

○岸田拓也、矢本寛子
(株式会社食環境衛生研究所)

P-2 再分類された国産麦角の麦角アルカロイド分析

○土井悠路¹、若菜大悟¹、武田 尚¹、田中榮爾²、細江智夫¹
(¹星薬大、²石県大)

P-3 *Trichothecium roseum* の生合成経路解明に向けた feeding 実験

○小泉慶明¹、鈴木 将²、岡田彩希²、貞松和樹²、松井宏介³、木村 真³、安藤直子^{1, 2}
(¹東洋大・理工、²東洋大院・理工、³名大院・生命農)

P-4 *Fusarium graminearum* 遺伝子破壊株を用いたトリコテセン前駆体の生産・同定

○貞松和樹¹、鈴木 将²、松井宏介³、小豆畑隼²、深澤修平²、大澤祐奈²、木村 真³、安藤直子¹
(¹東洋大院・理工、²東洋大・理工、³名大院・生命農)

P-5 *Fusarium sporotrichioides* の遺伝子破壊株を用いた 4-deoxy-7-hydroxy T-2 toxin の生産と同定

○小豆畑隼¹、貞松和樹¹、鈴木 将²、松井宏介³、揚原 佑²、高野 翼²、中嶋佑一³、相川俊一⁴、木村 真³、安藤直子¹
(¹東洋大院・理工、²東洋大・理工、³名大院・生命農、⁴東洋大・工技研)

P-6 ジクロールボス-アンモニア (DV-AM) 法におけるアフラトキシン生産菌選択培地の改良検討

○飛弾一平、山口崇大、矢部希見子
(福井工大・環境食品)

P-7 ジクロールボス-アンモニア (DV-AM) 法を用いた複数地域におけるアフラトキシン生産菌のスクリーニング (2019年度)

○旦 正措、○雷 祥雨、山口崇大、佐藤大河、福田和也、飛弾一平、阮 青佐、矢部希見子
(福井工大・環境食品)

P-8 農業利用土壌におけるアフラトキシン産生菌のスクリーニング (予備的検討)

○山口崇大、○阮 青佐、佐藤大河、福田和也、飛弾一平、雷 祥雨、旦 正措、矢部希見子
(福井工大・環境食品)

P-9 ミツバチ製品 (Bee Pollen 及びハチミツ) からのアフラトキシン生産菌の単離

○福田和也、佐藤大河、山口崇大、矢部希見子
(福井工大・食環境品)

P-10 殺虫器で収集した羽虫等からのアフラトキシン生産菌の単離

○佐藤大河、福田和也、山口崇大、飛弾一平、雷 祥雨、阮 青佐、矢部希見子
(福井工大・環境食品)

P-11 A-ring に水酸基を有するトリコテセンの不思議な反応

○松山桃子¹、松井宏介¹、小豆畑隼²、中嶋佑一¹、吉成知也³、小林哲夫¹、相川俊一⁴、安藤直子²、

木村 真¹

(¹名大院・生命農、²東洋大院・理工、³国立衛研、⁴東洋大・工技研)

P-12 フザリウムトリコテセン混合物のアセチル化ニバレノールへの変換に向けた食用カビのセルフクローニング株の構築

○森 洋賢¹、中嶋佑一¹、松山桃子¹、小林哲夫²、西内 巧²、木村 真¹

(¹名大院・生命農、²金沢大・遺伝子)

P-13 市販キットを用いたとうもろこしサイレージ新鮮物中デオキシニバレノールの迅速測定技術

○湊 啓子、出口健三郎

(道総研畜試)

P-14 His タグ融合 AfIR タンパク質の転写因子としての機能解析

○久保田雅大、仲西勝海、清水公德

(東理大・生物工)

P-15 キャンディン系薬剤耐性土壌分離菌がもつ FKS 遺伝子の構造

○岩本悠花、清水公德

(東理大・生物工)

P-16 昆虫病原菌 *Cordyceps cardinalis* が産生する二次代謝産物の毒性評価

○北島誠也、田村友和、清水公德

(東理大・生物工)

P-17 *Aspergillus* 属由来の二次代謝産物クラスターを利用した新規天然化合物の探索

○伊藤芽依¹、清水公德¹、浅井禎吾²

(¹東理大・生物工、²東大院・総合)

15:20—16:20 一般講演(O-1~O-5) (下線は学生会員の発表者)

座長：吉成知也(国立衛研)

鈴木忠宏(農研機構)

O-1 (15:20—15:32) *Tri101* を破壊した *Fusarium graminearum* 変異株が示す t-type トリコテセン C-4 位への糖抱合活性

○松井宏介¹、新海航輝²、武田博音³、相川俊一⁴、安藤直子²、木村 真¹

(¹名大院・生命農、²東洋大院・理工、³東洋大・理工、⁴東洋大・工技研)

O-2 (15:32—15:44) アフラトキシン産生阻害物質ジオクタチンによるメタボロームの変動とヒストンアセチル化および遺伝子発現への影響

○古川智宏¹、片山秀和²、及川 章^{3,4}、根岸瑠美⁵、市川琢磨²、鈴木道生⁶、村瀬浩司⁶、高山誠司⁶、作田庄平¹

(¹帝京大・理工、²東海大・工、³山形大・院農、⁴理研・CSRS、⁵東大・定生研、⁶東大院・農生科)

O-3 (15:44—15:56) 赤かび病菌のトリコテセン水酸化酵素 Tri1p 機能改変株を用いた産生かび毒の解析

○前田一行¹、小豆畑隼²、松井宏介³、中嶋佑一³、吉成知也⁴、安藤直子²、木村 真³、大里修一¹ (¹明大・農、²東洋大・理工、³名大院・生命農、⁴国立衛研)

O-4 (15:56－16:08) *Fusarium graminearum* のトリコテセン生合成制御における PKA の役割について

○中嶋佑一¹、赤坂まな美¹、前田一行²、小林哲夫¹、木村 真¹
(¹名大院・生命農、²明大・農)

O-5 (16:08－16:20) 国産麦類中のデオキシニバレノール及びその配糖体の含有実態 (第2報)

○漆山哲生、須永恭之、尾松雄士、山田友紀子
(農水省)

16:20－16:30 休憩

16:30－17:10 特別講演2

座長：小林哲夫 (名大院・生命農)

S-5 (16:30－17:10) 持続可能な開発目標(SDGs)と糸状菌によるバイオマス分解の研究

○加藤雅士、志水元亨
(名城大・農)

17:10－17:20 ISMYCO 2020 & ICM 2020 のご案内 作田庄平 (帝京大)

17:20－17:25 次回学術講演会のご案内 青山幸二 (FAMIC)

17:25－17:30 閉会の挨拶 (ベストプレゼンテーション賞受賞者の発表)

17:45－19:45 懇親会(レストラン花の木 食堂)

ベストプレゼンテーション賞の表彰 (乾杯後すぐ)

第85回学術講演会実行委員

木村 真*	名古屋大学
近藤 竜彦	名古屋大学
須賀 晴久	岐阜大学
北川 章	至学館大学
清水 公德	東京理科大学
青山 幸二	農林水産消費安全技術センター
法月 廣子	元 一般財団法人日本穀物検定協会
吉成 知也	国立医薬品食品衛生研究所
滝埜 昌彦	アジレント・テクノロジー株式会社
吉田 英治	株式会社プラクティカル

*委員長(世話人)